

文部科学省・JICA との官民協働により フィリピン教育省と連携覚書を締結

日本・フィリピン友好年（国交正常化 70 周年）記念事業に認定

ヤマハ株式会社（以下、当社）のフィリピン共和国（以下、フィリピン）における販売子会社であるヤマハ・ミュージック・フィリピンは、フィリピン教育省と初等教育の質向上を目的とした連携覚書を 2026 年 2 月に締結しました。なお、本連携覚書の署名式は、日本・フィリピン友好年（国交正常化 70 周年）記念事業に認定されています。

当社は、「世界中の子どもたちが音楽を通じてこころ豊かな人生を送れる平和な社会の実現」を目指し、2015 年より新興国を中心に「スクールプロジェクト」を展開しています。本事業では、各国の政府教育機関と連携し、カリキュラムの構築支援や指導者の育成、教材や楽器の販売・提供を通じて、公教育における音楽・器楽教育の普及を推進。これまでにマレーシア、インドネシア、ベトナム、インド、ブラジル、アラブ首長国連邦、エジプト、コロンビア、フィリピン、メキシコの 10 か国で累計 425 万人（2025 年 12 月末時点）の子どもたちに音楽や楽器演奏を楽しむ機会を提供しています。



フィリピン教育省との覚書署名式の様子

左：フィリピン教育省 Secretary JUAN EDGARDO "SONNY" M. ANGARA 氏
右：ヤマハ・ミュージック・フィリピン社長 尾上 浩一朗

フィリピンでは、浜松市とダバオ市の都市間連携協力の一環として、2024 年 12 月よりダバオ市内の公立初等学校にて、リコーダーを用いた音楽教育を試験導入しています。また 2025 年 7 月からは、文部科学省による「日本型教育の海外展開 (EDU-Port ニッポン)」応援プロジェクトとして、さらに独立行政法人国際協力機構 (JICA) との官民協働のもと、フィリピン教育省による日本やアセアン地域での音楽教育の視察などを実施してきました。こうした関係機関との連携の成果として、フィリピン中央政府レベルでの連携覚書の締結に至り、2026 年 6 月から西ビサヤ地方の公立初等学校 10 校において、ピアノとミニキーボードを活用した日本型音楽教育の試験導入を開始します。当社は、今後も各機関との協働を通じて、フィリピンの教育の質の向上に貢献してまいります。

文部科学省 大臣官房国際課国際協力企画室長 宮澤 武志氏コメント

近年、学校教育における非認知能力育成の重要性が世界的に認識される中、音楽教育を通じて子どもたちの社会的スキルや情緒を育むヤマハの「スクールプロジェクト」には、日本の「知・徳・体」を育む全人的教育の良さを世界に発信する代表的取組として期待を寄せています。本事業により、フィリピンの子どもの豊かな心が育まれるとともに、国交正常化 70 周年を迎えた日・フィリピンの一層の交流強化に貢献されていくことを期待します。

独立行政法人国際協力機構 (JICA) フィリピン事務所長 馬場 隆氏コメント

昨年 7 月のヤマハ社・JICA 間の連携覚書の締結を踏まえ、フィリピン教育省の行政官が日本型音楽教育について理解を深めるための共創の取組を行ってきましたが、ODA を通じて JICA がフィリピンにおいて長年培ってきた信頼やネットワークを、フィリピン教育省との連携覚書締結という形で日本企業様へ橋渡しできたことを嬉しく感じています。昨今注目の集まる非認知能力の向上という観点で、「スクールプロジェクト」はフィリピン初等教育の質的向上に寄与する取り組みであり、本連携を通じて日本の知見を活かした学びの機会がさらに拡大し、両国の教育協力が一層深化することを期待しています。

* 文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

* 掲載情報はすべて発表日現在のものです。発表日以降に変更となる可能性もありますので予めご了承ください。

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当：藤原

TEL. 050-3148-8660

ウェブサイト https://www.yamaha.com/ja/news_release/（取材申し込みや広報資料請求が可能です）